漢文の訓読

漢文を日本語の規則に従って読むことを**訓読**という。漢字だけで書かれた原文を**白文**といい、これに**訓点**を加えたものを**訓読文**という。主な訓点には、送り仮名・返り点・句読点がある。

●**送り仮名**…漢字の右下に、カタカナで送り仮名を書く。訓読では、「て・に・を・は」といった助詞や、助動詞なども補う。

●**返り点**…漢文を日本語の語順で読むため、漢字の左下に補う。

・**レ点**……下から上に一字返って読むことを表す。

（例）　2レ　1

・**一・二点**…下から上に二字以上返って読むことを表す。

（例）　3二　1　2一

・**上・下点**…一・二点をはさみ、さらに返って読むことを表す。

（例）　5下　3二　1　2一　4上

・**㆑**……一点とレ点を組み合わせたもの。先にレ点に従って下から上に一字返り、さらに二字以上返って読む。

（例）　4二　1　3㆑　2

●**句読点**……語句や文の切れ目を表すために補う。

訓読文を、漢字仮名交じり文に書き改めたものを**書き下し文**という。訓読文を書き下し文に直すときは、次のような決まりがある。

・送り仮名はひらがなに改める。
・返り点が示す順に従って書き改める。
・漢字は原則そのままだが、「之（の）」「不（ず）」などの助詞・助動詞はひらがなに改める。

〈白文〉　学而時習之

〈訓読文〉　学ビテ而時ニ習レフ之ヲ、

〈書き下し文〉　学びて時に之を習ふ、

「学而時習之」の「而」のように、訓読で読まず、書き下し文でも省略する文字を**置き字**という。

（例）　学ビテ**而**（置き字）時ニ習レフ之ヲ、（学びて時に之を習ふ、）

確認テスト

(1) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□レ□□レ□レ□

(2) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□レ□二□レ□□一

(3) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□下□□二□□一□上

(4) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□二□□㆑□□

(5) 次の数字の順に従って□を読むように、返り点を書き入れなさい。

6 1 2 3 5 4

(6) 次の書き下し文となるように、訓読文に返り点を書き入れなさい。

天命を知る。

知ル天命ヲ。

(7) 次の書き下し文となるように、訓読文に返り点を書き入れなさい。

心の欲する所に従へども、

従ヘドモ心ノ所ニ欲スル、

(8) 次の訓読文を書き下し文に直し、解答欄（かいとうらん）に当てはまる言葉を書き入れなさい。ただし「不」は助動詞に当たる言葉、「而」「矣」は置き字である。

子曰ハク、「過（あやま）チテ而不（ざ）レ改メ、是ヲ謂レ過チト矣。」

子曰はく、

「　　　　」、

是を過ちと謂ふ。」と。